



院長  
伊藤 真理子  
プロフィール

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の  
女性の **ココロ** **カク**

母子手帳 ④

妊娠したことが分かり、お住まいの市町村からもらう「母子手帳」。その中には妊娠中に気をつけたい、いくつかの項目が記載されています。

お酒とタバコは×

特に注意したいのはお酒とタバコ。アルコールは微量でも胎児の発育や脳に影響を及ぼす場合があります(胎児性アルコール症候群)。胎児性アルコール症候群の発生率はアルコール依存症女性の出生児では3分の1に確認されています。タバコは胎児の発育だけでなく、異常妊娠も増加し、母体の命にもか

わってきます。生まれた赤ちゃんも同様で、近くで1日10本吸う大人がいると赤ちゃんも副流煙で1日1本吸っていることになります。

大切な夫の役割

母子手帳には、妊娠中の夫の役割も示されています。妊婦さんの心身の安定には、いたわりやねぎらい、家事を積極的に行うなど、夫の理解や協力が欠かせません。

先ほどタバコの書を紹介しましたが、喫煙は当たり前。妊娠中はもちろん、赤ちゃんの誕生を盼望みなら妊娠前からパートナーの前での喫煙は控

えましょう。

健診を受けましょう

妊娠中に様々な病気が見つかる、最適な治療が遅れる心配があります。乳がんや子宮がんを含め、健康診断は積極的に受診しましょう。特に職場の健診などが受けられない人は要注意です。

持病がある人は要注意

すでに持病がある人は、その病気が妊娠・出産時にはどう影響するかを医師に確認して下さい。薬を常用している人は、その薬を内服したまま妊娠しても大丈夫かき

ちゃんと質問すること。虫歯も治しておきたいもの。妊娠前に必要な予防注射もお忘れなく。



(産婦人科)

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

●診療時間

【平日】午前/8時30分~12時  
午後/14時~17時  
【木曜】午前/8時30分~11時  
【土曜】午前/8時~11時

●休診日

日・祝祭日  
木・土曜日は午後休診となります。

